

No. 18

## 1. 「第一回スコティッシュ・カントリーダンス・フェスティバルin東京」について

昨年、日本フォークダンス連盟35周年の大会のときに、スコティッシュのイベントがあり、RSCDS東京ブランチも積極的な協力をしたことは、前回のブランチレターで紹介したとおりですが、このたび東京都フォークダンス連盟が主催の「第一回スコティッシュ・カントリーダンス・フェスティバルin東京」が開催されることになり、内容、指導等東京ブランチが主体で担当することになりました。全国のスコティッシュカントリーダンス愛好者が一堂に集い親睦を深め、同時にスコットランドの文化やダンスの背景等も理解していく機会とするのが目的です。内容は以下のとおりです。

日時： 1992年4月12日(日) AM10:00~PM4:00

会場： 東京体育館メインアリーナ

会費： 前売り制とする 前売り ¥1000 (プログラム付き)  
当日 ¥1300 (プログラム付き)

内容： 午前中～ クラス(講習)

基礎ステップ、基本フォーメーション及びダンス

講師：RSCDS公認 Teacher 岡田昌子

午後～ パーティ

ソーシャルダンシング及びデモンストレーション

(ハインドダンス、ステップダンス、パイ演奏)

主催： 東京都フォークダンス連盟

共済： RSCDS東京ブランチ

後援： 関東甲信越FD支部連合会、埼玉県フォークダンス連盟、  
神奈川県フォークダンス連盟、千葉県フォークダンス連盟

スコティッシュをスコティッシュ本来のものとして伝える良い機会が東京ブランチに与えられたと考えていますので、ブランチ会員の皆様の積極的な参加及びお手伝いをよろしくお願い致します。大人数で楽しみたいと思います。前売り券等につきましては、ブランチ委員までお問い合わせください。

## 2. ウィークエンド・スクールの報告

期 日 1992年2月14日(金)～16日(日)

会 場 日野市ラサール研修所

参加数 94名

講 師 岡田昌子 (Aコース), 荒井千文 (Aコースアシスタント)  
小川義忠, 稲垣 俊, 大野悦子, 近藤幸子, 田村妙子 (Bコース)  
佐藤仁美, 鳥山豊喜, 五十嵐成子 (Cコース)  
服部雅好 (ピアニスト)

内 容 Aコース: ビギナークラス  
Bコース: ソシアルダンス  
Cコース: アドバンスのためのベーシッククラス

ピアニストの服部さんにご協力いただき、今回初めてAコース、Cコースでピアノの伴奏でのクラスを行い好評でした。特にAコースでは、小人数でまとまりが良かったこともあって、効果が大きかったようです。Bコースの方には残念でしたが、でもPARTYではピアノの伴奏で踊れたし、なによりもクラス自体が盛り沢山だったので楽しめたと思います。

食事の後片付けで思いのほか時間がかかったことや、PARTYでの盛り上がりから反面、階下の人たちの安眠を妨げてしまったという反省もありますが、全体に大きなトラブルもなく終了致しました。

東京ブランチ・チェアマン 渡辺金次郎 記

以下、合宿に参加された方々からの感想等をご紹介します。

### ■「初めにダンスありき」

仙台アイリッシュ・ローバーズ 渡辺金次郎

Scottish Country Dance を始めて4半世紀を過ぎ、いつの間にか、おじさん、おばさんになりました。東京ブランチの合宿に参加すると、そのなつかしい方々にお会い出来て、いい音楽でいい人といいダンスを踊ることができます。この上ない幸いだと思っております。

合宿でのクラスは、Cクラスに参加しました。いろいろScottish Country Danceに限らず、勉強させていただきありがとうございます。Scottish Country Danceは、資料を見れば踊れるものでないことを皆様も御存知のことです。グリーンブックは、

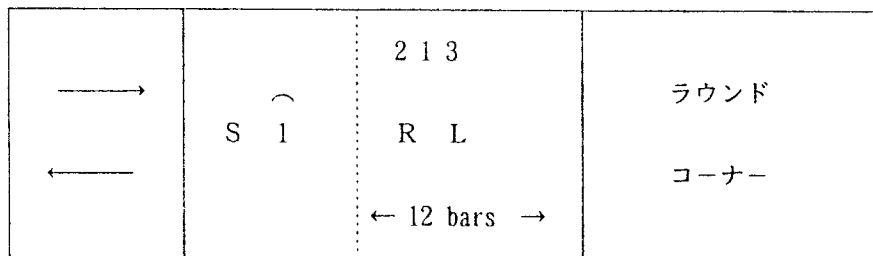
ダンスのメモとして活用しておるように、RSCDSのBook等の資料もメモの域をでないのが実情だと思います。“初めにダンスありき”でその後プロGRESSIONとかフィギアとかフォーメーションと言うように名付けられたものだと思います。これらの一つ一つについて、疑問点や解らない点ができるのは当然であります。音楽やダンスは、その場で消えてしまう花火のような芸術です。人の記憶にたよる伝承のみが、正しいダンスの伝への支えになっていると思います。最近、ビデオなども発達してダンスが簡単に画面でみられるようになりました。私達も踊られた多くのダンスをビデオで記録し、後々までも正しく伝えられるよう努めなければならないと考えています。

Cクラスの発表ダンスは、Miss Gibson's Strathspey でした。私は、つい、またまた新しいフィギアを作ってしまった。1stコーナーとターンライトをし、パートナーとターンレフトまではよかったです。さっと右手を出してみると、また1stコーナーがいるではありませんか。（実は、2ndコーナーとターンライトだったのです。）しかたなく1stコーナーを2つのステップでラウンドして、続いて、パートナーとターンレフトし、元の道にもどりました。「間違ったときは、新しいフィギアを考えよう」と慌てず、新しいダンスを作ることに心掛けております。どなたかこの新しいフィギアとダンスのpatentをお買い求め下さい。

※ ラウンドコーナ (新しいフィギア ストラスペイタイム)

- 1 ~ 2 1stコーナーとターンライト (コーナーは4ステップで)
- 3 ~ 4 パートナーとターンレフト
- 5 ~ 8 ラウンド1stコーナーto2ndコーナーへ
- 9 ~ 16 2ndコーナーと同じ

※ Kinkin Yastutana (S 3 2 - 3 C)



ランチショップは、本当に安くいろいろの物を販売していただきました。個人で求めようとするのだいぶ高くなります。本当にありがとうございます。いつも“おんぶにだっこ”で、東京ランチから離れられない存在ですが、少しでも東北のテリトリーを守らなければいけないと思い、下手な英語を使ってスコットランドから直接買い入れするように努めております。これからも東京ランチのお力添えをお願いいたします。

最後に、東京ランチの益々の御発展を願うと共に、RSCDSのアフリエイトグループの仙台アイリッシュ・ローバーズをご援助下さい。又、仙台ランチの設立に向けて力一杯努力したいと存じますので、多くのグループの方々のご指導、ご援助をお願い申し上げますと共に各グループの御発展をお祈り申し上げます。

第5回東京ランチ合宿に「宗像（福岡）」から初めて参加いたしました。大きな期待と不安が交錯するなか、小倉発9：08のひかり6号へ乗り込み、一路東京（日野市）へと向かう。

初日のスタートは、OPENING BALL。プログラムを見て知っている踊りは2曲、不安で一杯でしたが、近藤先生のわかりやすいウォーク・スルーに助けられてどうにか仲間に入って踊ることが出来ました。

2日目からは、コース別での研修です。私は、初めての参加なので、初心にかえて基本的な勉強が出来ればと思い「Aクラス」を選びました。担当が岡田先生と聞いてビックリ、直接岡田先生のレッスンを受けることが出来て本当に感激しました。Aクラスは14名、内男性は私1人、13人の美女？に囲まれて準備運動から始まり、パデバスク、スキップ・チェンジ・オブ・ステップと午前中はREELとJIGを中心に勉強しました。午後はストラスペイの基本練習に入り、ピアニストの服部さんの素晴らしい生演奏の協力もあってステップも自然に軽やか、その中で「MACDONALD OF THE ISLES」を半日かけてしっかり勉強しました。夕食後はみんなの待ちにまった「PARTY BALL」、食べて、飲んで踊ってと夜の更けるのも忘れてしっかり踊りました。知らない曲がほとんどでしたが、岩崎先生のウォーク・スルーやセットの皆さんの素敵な笑顔に助けられて楽しい一夜を過ごすことが出来ました。

3日目の午前中は、また、クラス別に別れてフレージング等の大切さと色々なフィギアの練習を中心に最後の総仕上げです。アシスタントの荒井さんも私達の中に入って、一緒にステップを踏んでくれました。あの素晴らしいステップ、いまでも頭の中に甦ってきます。「Aクラス」担当の岡田先生、荒井さん、ピアニストの服部さん、素晴らしいスタッフ陣の熱の入った指導で、満足のいく勉強が出来ました。本当にお疲れさまでした。

この3日間の合宿を通じて、やっと私も東京ランチの仲間入りが出来たような気がします。チェアマンの小幡先生、セクレタリーの松橋先生をはじめ、多くのスタッフの皆さん、そして、参加した全員の協力で充実した合宿になったと思います。

九州から初めて参加した私を、あたたかく迎えてくれた会員の皆さんに感謝しながら、ペンを置きたいと思います。最後に昨年の3月に私達「宗像SCDC」主催の講習会に快く講師を派遣して下さい、実のある講習会を開くことが出来ましたことを、この紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。これから色々な面でお力添えをお願いすると思いますが、よろしくご指導のほどお願い申し上げます。17：04発の新幹線に乗り込んだ私、発車と同時に冷えた缶ビールを開け、「東京ランチ」に乾杯！

★「東京ランチ合宿に参加して」

堂端栄子

大げさに参加すべきか、せざるべきかなどと迷った揚げ句の合宿初参加。決定のハガキを手にしてやっと決心がつくという情けないスタートだった。縁あってスコテッシュカントリーダンスに巡り合い、他のフォークダンスにはない、独特の雰囲気にも心ひかれるものがあった。初日の夜は、沢山の仲間と何10年ぶりの修学旅行のように賑やかで（話の内容は内緒）緊張もとけてきた。さて、翌日のプログラムが始まった。皆さんとても慣れていて、上手そうに見える。また、また緊張、緊張。しかし、テーマは、「楽しく、社交的に踊る」だった。先生が次々にこやかにご指導下さっているにもかかわらず、私の目は尖んがり、顔は引きつり、基本ステップはどこへやら。流れを止めないようにと精一杯だった。時々、頭の中が真っ白になる。「あーあ、もうだめだー」と思った頃、ティータムに救われた。お当番さんの御陰で美味しいお茶やクッキーが頂けて、心身ともにリラックスできた。スケジュールは、夜のパーティ、デモ、講習と内容も充実し（希望としてスコットランドの歴史や現地のお話もお聞きしたかった。）、スコテッシュに浸りきった2泊3日の合宿であった。最後は、重い足を引きずって帰途に着くことになったのだが、お世話下さった皆様に感謝すると共に、スコテッシュカントリーダンスを心から愛する多くの方々に触れ合えた喜びは大きかった。有り難う 皆さん。

スコテッシュカントリーダンスに乾杯！

▲「第5回合宿研修会に参加して」

金沢SCD 渡辺美千代

上京した回数は何回と数えられないくらいなのに、今だに東京へ行く前の晩は、何とも落ち着かず、心がワクワクします。久し振りに逢える先輩や友の顔が次々と浮かび、とうとう羊を数えることに……。

今回の合宿に参加して、回を重ねる毎に、メンバーも増え、指導担当者層も随分厚くなり、会員のひとりとして、今度はどんなことを学べるのかしらと期待でいっぱいになりました。私の選んだCコース（中・上級者のためのベーシッククラス）は、指導担当、Sさん、Tさん、Iさん、3人とも昨年のサマースクールで御一緒させていただいたので、恐い(?)というイメージは全くありませんでした。準備された料理の材料が、指導者によって形良く切られ、砂糖がちょっと、塩少々、バターがたっぷり煮込まれ、彩よく盛りつけされたお皿がテーブルの上に乗る時、添えたジャガイモがコロんと転がったり（誰かがミスをしてセットが一瞬ワットとなる）して、慌ててお皿に載せる光景もあり、それぞれの味付けでお腹がいっぱいになりました。今まで私の中にくすぶっていた、いくつかの疑問点、Slipping Stepの8つ目はどうなる？ Skip Change of stepで何小節か進んだ最終ステップは？ reel of three or reel of fourの収まり方は？……などを質問することが出来ました。基本的には省略をしないこと。そして、踊りの流れの中では

こういう風になると丁寧に教えていただき、又、ひとつ自信ができました。Cコース最終日にピアニストHさんの伴奏で踊ることが出来たのも、今回の大きな喜びでした。ティータイム、パーティとさながらスコットランドのサマースクールにいるようで、スタッフの気配りがうれしく思えた3日間でした。

●「合宿研修会に参加して」

大宮台FDG 柳澤真弓

今回初めて参加しました。とても楽しい合宿で、初めの不安はすぐなくなりました。オープニング・パーティ会場は、沢山のダンス愛好者の皆さんで和気あいあいと始まりました。部屋に帰ってからも、おしゃべりしたり、お菓子を食べたりして過ごし、夜が更けてきたので「明日、頑張ろうね」と床に就きました。2日目からは各コースに別れての勉強です。Aコースは岡田先生、助手の荒井先生、ピアニストの服部さんです。今日は基本ステップの勉強です。午前は、姿勢、足のポジション、パデバスク、スキップチェンジオブステップ、JIGとREELの違い等、そして、MACDONALD OF THE ISIE を踊り、マクドナルドさんのお話をしてくださいました。午後は、ストラスペースステップの練習です。生演奏は初めての経験で幸せです。先生が「夜のパーティで見てくださいませう」とおっしゃいましたので、頑張ることになりました。皆様の温かいご声援ありがとうございました。3日目の授業はタイミングです。アレマンド、クロス、ダブルトライアングル等の手を放す、または手の位置、戻り方などです。そして、「余分な動作はしない、あくまでも自然体で」また「体全部を使うこと、顔、目、体の向き等オーバーになりすぎないようにして踊ること」などです。今回の研修で学んだこと、注意していただいたことを頭に置いて踊っていきたいと思います。午後は、勉強してきたことを発表しました。先輩の方々の楽しいダンス、優雅なストラスペースに感動しました。ピアノでの授業、お食事も美味しかったし、沢山の食器を洗ったのも思い出です。先生、スタッフの皆様、有り難うございました。岡田先生、助手の荒井先生、Aコースの皆さんとサヨナラするとき、皆、涙を浮かべていました。又、どこかでお会い出来ることを楽しみにしています。

■「東京ランチ合宿に初参加して」

中田多鶴子

今回初めて合宿研修会に参加し、Aクラスで受講する機会に恵まれました。スコティッシュカントリーダンスを始めて未だ日の浅い私にとって、合宿はもとよりパーティに参加するのも初めての経験でしたので、期待と不安の入り交じった複雑な気持ちでこの合宿に臨みました。Aクラスは、13名とこじんまりしており、岡田昌子先生が穏やかな口調で大変わかりやすく論理的に、そして、科学的に基本ステップをご指導くださいましたし、ま

た、一人一人丁寧にステップをコレクトして下さいましたので、私の不安感は次第に心地よい緊張感と満足感に変わってゆきました。ダンスのフォーメーションの中で、ダブルトライアングルやフォー・ハンズ・アクロスとセント・アンドリュー・アンド・クロスとの関わり、パーティでのデモ曲「マクドナルド・オブ・ディ・アイル」のマクドナルド・クランとスカイ島の歴史的背景についてのお話等は大変興味深いものでした。服部先生のエレクトーンの生演奏とアシスタントの荒井先生の優雅なステップのお手本がとても素晴らしく、クラスがさらに盛り上がりました。また、木の床の柔らかくて暖かい感触もシューズから伝わり、時間の経つのがとても速く感じられました。パーティでは、数曲を除き初めての曲を一度のウォークスルーでいきなり踊らなければならず、私は全神経を集中させてフィギュアを頭にたたき込み、パートナーや同じセットの中の先生方に助けていただきながら、何とか踊ることができました。今回多くの方々と知り合いました。特に同じクラスの方々とは、再会も約束できました。私にとって、緊張と興奮、満足感の充実した3日間でした。先生方の暖かいご指導を常に思い出して、今後「シンプルに!」「ナチュラルに!」を心掛けて踊って行きたいと思っております。皆様、どうもありがとうございます。

★「合宿を終えて」

新潟SCD 高松美枝

東京ランチの合宿案内を頂いた時、日曜日が休めない仕事を持つ私にとって、三連休はとてもむずかしいものでした。でも、今年がチャンス! 今年を逃したら、もうチャンスはないかも・・・思い切って参加しました。結果は、行って良かった。その余韻は今も残っています。新潟では味わえない雰囲気の中で、一日目のオープニングボール、二日目の深夜に及んだボールと懇親会。ここでスコティッシュとは、狭い所でも踊れることを知りました。そして、講師の先生方のMISS MILLIGAN S STRATHSPEY。息もぴったり合って、素晴らしい踊りを見せて頂きました。

Bコースの実技では、「楽しく踊ろう」のテーマのもとに15曲も教えていただき、講師陣の熱心でエネルギッシュな指導には頭が下がります。8人の心がひとつになり、曲が仕上がる度に、自然に起こるパートナーを、セットを讃える拍手。これこそスコティッシュカントリーダンスを見たような気がします。最終日、仕上げは各コースの発表です。多少の緊張感、終わった後の満足感、どれをとっても良い経験でした。今度、参加出来る機会がありましたら、是非基本のステップを学びたいと思っております。

夢は遙か彼方のスコットランドへ思いを馳せて。最後にお世話下さったスタッフの方にお礼申し上げます。

### 3. 1992年度ランチ会員登録申込み及び年次総会（AGM）開催について

#### (1)次年度ランチ会員登録申込みについて

春がきて、また新年度のランチ会員登録申込みの季節になりました。ランチの役割の一つに本部の出先機関として本部に代わって行う運営業務があります。会員に関するもろもろの業務をその地域のランチが責任をもって行うことにより、本部の業務そのものを軽減化し、またランチ側ではそのランチ会員へのきめ細かなサービスも本部に代わって行えるという2面制をもっています。東京ランチも300名を越える会員規模となり、首都圏管内だけでなく全国規模の会員構成となっているため、特に地方の会員へのサービスが課題となっておりますが、そういったことも含めて今後もRSCDS精神にのっとった運営をおこなっていきたいと思います。

申込み方法：同封の振込用紙で会費の振込をお願いします。

振込用紙が申込み用紙を兼ねておりますので、必要項目を正確に記入のうえ振込願います。

振込先：東京6-64023/RSCDS東京ランチ  
①165 中野区大和町 4-6-6 佐藤方  
福島チイ子 宛 (☎ 03-3330-2845)

受付期間：1992年3月23日（月）～4月20日（月）

#### (2)年次総会（AGM）開催について

例年のように、5月末に東京ランチ年次総会（A. G. M.）を開催します。今回は、次年度から2年間ランチ運営を勤める新役員の選出が一つの大きな議題になっています。また、次年度の活動方針や内容等を審議していただく公式の場ですので、会員の皆様の積極的な参加をお待ちしています。また、総会終了後には恒例のAGMボール（ソーシャルダンシング）があります。

なお、場所が未定のため、日時、場所の詳細は別途ご案内致しますが、5月の24日又は21日ともは日曜日AM～PMですので、今から心の準備の方よろしく願います。

RSCDS 東京ランチへ- 1992. 3. 23 発行  
発行：RSCDS東京ランチ事務局  
松橋順子 048-885-1895